

事業所の移転にともない、レガシーPBXをAsterisk-PBXへ！ ひかり電話回線を使ったIPトランクで、フルIP化！



テーブルラックの隅に収まった
Asterisk-PBX

「事業所移転に伴って、IP-PBXを導入しようと考えているのですが、何か適当なものはないでしょうか？」（担当者：加藤様談） そんな電話問い合わせから案件が始まった。

市場では、IP-PBXと言えは、小規模SOHO向けのアプライアンス型IP-PBXか、コールセンター向けHDD搭載サーバ型が主流で、回線数が中規模クラス（100回線程度）のアプライアンス型IP-PBXが存在しなかった。 そんな市場向けに、弊社ではAsterisk-PBXの開発終盤だった。

組み込み型アプライアンスIP-PBXは、ルータのハードウェアを流用したものが多く、Asteriskベースとはいえ、回線数・機能共に削ぎ落とされていた。 また、コールセンター向けは、オフィス用途の機能に乏しかった。 HDD搭載型PBXに関しては、運用面で担当エンジニアがいなければ不安だ。

「弊社のIPハードフォン ZiPhone-X としっかり連携できるならば、採用しましょう」（高橋社長談）の判断で導入が決まった。 導入が始まると、いろいろと要望が挙がった。 ①外線発信時に日本流のリングング音にできないのか？ ②GUIだけで、もっと簡単にひかり電話ルータ（PR-S300NE）にレジストできないのか？ ③外線着信時に自動で担当者携帯電話へ転送することはできないのか？ などである。

①は、暫定導入の為に発生していた事項で、本格導入で解決。②は、Asteriskの手直しが必要だった。 sip.confで記述すれば簡単にレジストできるものの、Asterisk-GUIは users.confを対象としているからである。 OCNドットフォンへのレジストも、GUIだけで出来るように改良した。 ③は、一時的な利用目的ではあったが、Voice Menu機能を利用して実現できた。

現在、Asterisk-PBXは、スタイリッシュなIPハードフォン ZiPhone-X との組み合わせで実稼動している。 事業所移転後、ビル電源の想定外遮断事故以外、稼動が停止したことはない。 24時間365日稼動しなければならないIPBXである以上、当然のことである。 が、それが実現できていないIP-PBXは、市場には、まだ少なからず存在する。



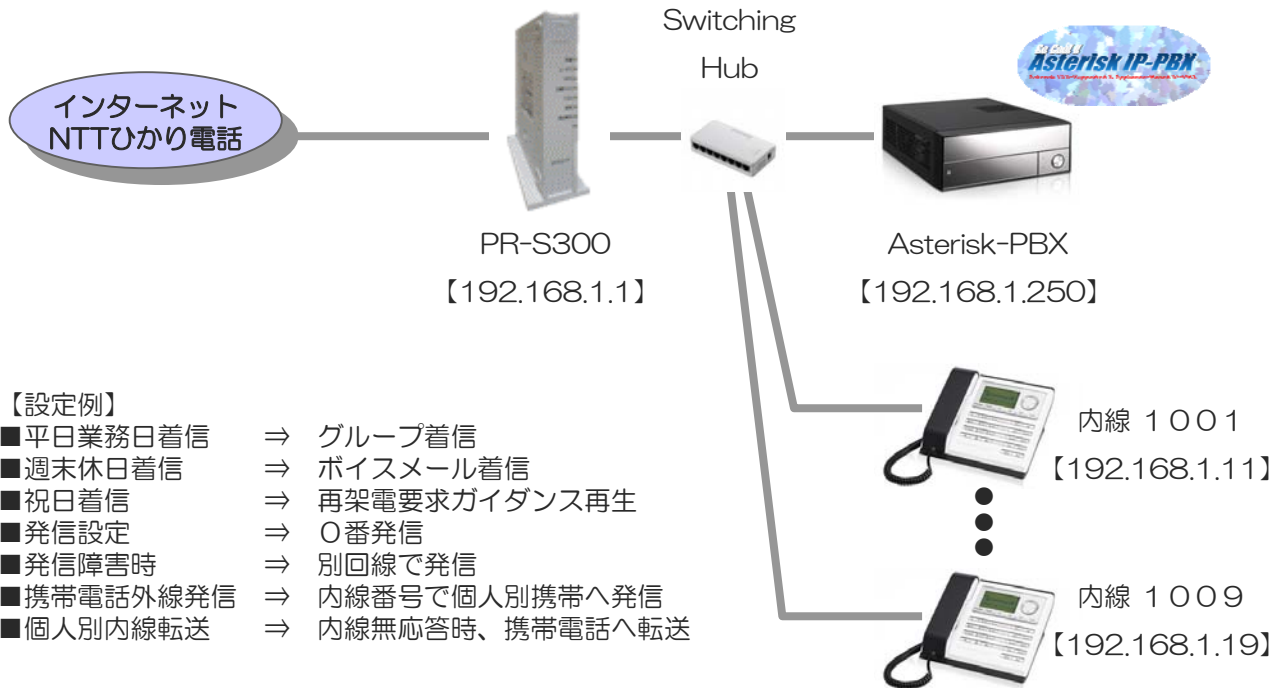
株式会社 エステック様取扱いのIPハードフォン
ZiPhone-X



オープン価格

高信頼性のアプライアンス型！
 電源投入後45秒の高速起動！
 純正Asterisk-GUIのWeb設定！
 IPチャンネル400回線の高性能！

【 ひかり電話接続例 】



【 その他、通話アプリケーション設定例 】

Voice Menu ボイスメニュー機能利用例	ボイスメニュー機能とは、IVR（自動音声応答）の機能と同等です。音声ガイダンスを再生することが一般的ですが、再生せずに、外線転送などのコールフロー実現に活用できます。
Paging Intercom インターコム機能利用例	インターコム機能は、自動着信機能を持つIP電話機を利用して、構内アナウンスに利用するものですが、自動着信機能をオフにしてIP電話を使った場合、アウトバウンド系の会議通話に使えます。
Directory ディレクトリー検索機能利用例	ディレクトリー検索機能とは、内線電話利用者の名前のローマ字先頭3文字をダイヤルパッド（番号の下に割り振られたアルファベット）からプッシュすることにより、該当者を検索できる機能です。
Follow Me フォローミー機能利用例	フォローミー機能とは、予め設定されている番号へ順次架けていきます。通話に应答した時点で接続されますが、最後まで应答がない場合は、自動的にボイスメール・システムへ入ります。